



先週のドル円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週の相場概況

23日

仏や独の9月製造業・サービス部門購買担当者景気指数(PMI)速報値が予想を下回り、ユーロ円が下落したことでドル円はつれる形で107.31円まで下押しした。もっとも、株価が持ち直し、米長期金利が上昇したため下値は限られた。

24日

ムニューシン米財務長官の「中国副首相との協議は10月7日の週になるだろう」との発言を受けてドル円は107.80円まで上昇した。ただ、9月米消費者信頼感指数などが予想より弱かったことなどをきっかけに一転下落。トランプ米大統領の弾劾リスクが意識されたことも売りにつながり、106.96円まで急速に下げた。

25日

ドル円は米系短期勢主導で買いが強まった。トランプ米大統領が中国との貿易協議の早期決着を示唆する発言をしたことや、8月米新築住宅販売件数が予想を上回ったこと、市場では「月末・期末を控えたロンドン16時(日本時間24時)のフィクシングに絡んだドル買いのフローが観測されたようだ」との指摘もあり、一時107.88円まで上値を伸ばした。

26日

ドル円は月末に絡んだ本邦輸出企業の売りに押されたうえ、米長期金利の低下につれた面もあり、一時107.43円まで下落した。ただ、連日で月末・期末を控えたロンドン16時(日本時間24時)のフィクシングに絡んだドル買いのフローが観測されると107.96円まで切り返した。

27日

日経平均株価の下落に伴ってドル円は107.66円まで下げたが、欧米株価指数が堅調に推移したうえ、「サウジアラビアがイエメンでの一部停戦に合意」との報道で中東の地政学リスクが後退したことも買いを促し、一時108.18円まで上昇した。ただ、「トランプ政権は米証券取引所に上場する中国株の廃止を検討」「米投資家の対中投資を制限するための方策を検討」と複数のメディアが報じると107.70円台まで失速する場面も見られた。

総括

先週のドル円は下値の堅い動きとなった。トランプ米大統領の弾劾リスクが浮上したことでリスク・オフの動きを一気に強め、ドル円は24日には106.96円まで下落した。ただ、すぐに短期勢がショートカバーの動きに動いた。連日で月末のロンドンフィクシングにかけてドル買いのフローが観測されたことから堅調に推移し、週末には108円台を一時回復した。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
24日	17:00	火	DEM	IFO企業景況感指数	*	9月	94.3		94.4	94.6
24日	23:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	9月	135.1		133.5	125.1
25日	11:00	水	NZD	RBNZ政策金利	*	*	1.00%		1.00%	1.00%
25日	23:00	水	USD	新築住宅販売件数	*	8月	63.5万件	66.6万件	66.0万件	71.3万件
26日	21:30	木	USD	GDP確定値	前期比年率	4-6月期	2.0%		2.0%	2.0%
27日	21:30	金	USD	PCEコアデフレーター	前月比	8月	0.2%		0.2%	0.1%
27日	21:30	金	USD	耐久財受注	前月比	8月	2.1%	2.0%	-1.0%	0.2%

一言コメント・・・海外勢の四半期末、日本の中間期末を控えてフロー主導の動きとなり、経済指標への感応度は低い地合いとなりました。

先週の注目された要人発言

23日22:05 ドラギECB総裁「ユーロ圏の成長力は著しく減退した」「ECBは、あらゆる措置を講じる用意がある」「インフレは目標値に収束していくと確信」「労働市場が徐々に改善している」
 24日18:50 英最高裁判所「英議会は可能な限り速やかに再開すべき」「ジョンソン英首相のエリザベス女王への助言は無効であり、違法」
 24日19:08 ロウRBA総裁「さらなる金融緩和が必要である可能性」
 25日23:52 トランプ米大統領「ウクライナに一切圧力をかけていない」「中国との通商合意は予想よりも早くなるかもしれない」
 26日11:32 オアRBNZ総裁「何年かにわたり金利が低く推移することを確信している」「投資をするには最高の環境」
 27日04:36 王毅中国外相「米国は善意を見せており、中国はより多くの米国製品を購入することができる」
 27日16:02 サンダースMPC委員「ブレグジットが合意したとしても利下げが必要」
 27日21:44 ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁「米経済はかなり良く、FRBは金利を据え置くべき」「インフレ期待が低下するかどうか懸念」
 27日21:46 レーンECBチーフ・エコノミスト「9月の緩和パッケージは大規模な政策変更ではない」「ユーロ圏の労働市場は依然強い」
 29日03:51 王毅中国外相「貿易戦争は世界をリセッションに陥れる恐れ」

一言コメント・・・今週も米中両国の要人発言が相次ぎ、相場は一喜一憂しました。米中貿易協議の進展期待が高まりしばらくは株高が進みましたが、週末に米メディアが「対中投資規制」について報じると株価が失速し為替市場では円を買い戻す動きが広がりました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
1日	08:50	火	JPY	日銀短観	*	7-9月期	7		1
1日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	1.00%		0.75%
1日	23:00	火	USD	ISM製造業指数	*	9月	49.1		50.2
2日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	9月	19.5万人		14.0万人
3日	23:00	木	USD	ISM非製造業指数	*	9月	56.4		55.0
4日	21:30	金	USD	NFP	前月比	9月	13.0万人		14.5万人
4日	27:00	金	USD	FRB議長発言	*	*	*	*	*

今週の注目は・・・米雇用統計

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - 越後屋の小言

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。